

A 部会



関の観光を考える

A 部会

坂元広幸 (リーダー) / 大野克幸 / 長瀬史弥 / 山田武夫

関の観光を考える

私達が取り組む課題

関市の観光地としての認知度が低い

I 課題の背景と現状

私たちは、関市が、日本一の刃物生産量を誇るまちであること、国内随一の伝統を誇る小瀬鵜飼、世界に誇るサムライ文化(日本刀づくり)など、魅力ある観光資源があるにもかかわらず、市外や市民の皆さんの関市に対する観光地としての認知度が低い考え、このテーマに対して取り組み始めました。

【アプローチする課題を絞り込むまで】

このテーマにおける具体的な課題は何か、部会内でワークショップを行いました。そこで出たのが以下の3つの課題です。

1. 若者が訪れたいと思うところが少ない

日本刀、鵜飼、円空、うなぎや鮎グルメなど、関市の主だった観光資源は比較的年齢層の高い方に受ける傾向にあります。岐阜県全体でもその傾向はみられます。若い世代にももっと関市に注目してもらい、お金を落としてもらうには……

2. 鵜飼がある小瀬の認知度があまりされていない

全国12カ所の鵜飼のなかで、宮内庁直轄の、いわゆる本物の鵜飼は、長良川で行っている関市と岐阜市だけ。にもかかわらず、規模の大きな岐阜市にはお客さんが来るけど、その上流の関市小瀬の認知度はいまひとつ。幽玄な雰囲気は全国随一なのに、そのよさがあまり伝わっていないのでしょうか。

3. 市民が関市を観光地として意識していない

多くの市民は外部から「関市って何かいいところある？」と聞かれ「そんな変わったところは特にないよ！」と答えます。こんなに素晴らしい資源がたくさんあるのに、です。市民の皆さんが関市のいいところを認識していないことが、外部への発信力のなさにつながってはいないのでしょうか。

これらの3つは、グループワークで私達が共通して感じた課題です。この課題が実際はどうなのか、行政の担当者（観光課）へのヒアリングを実施しました。

【その課題を設定した理由と根拠】

1. 行政担当者のヒアリングから分かったこと

観光課へヒアリングし、下記の資料を提供いただき、検討しました。

- ・ SEKI シティプロモーション事業推進計画
- ・ 関市観光交流課の事業概要

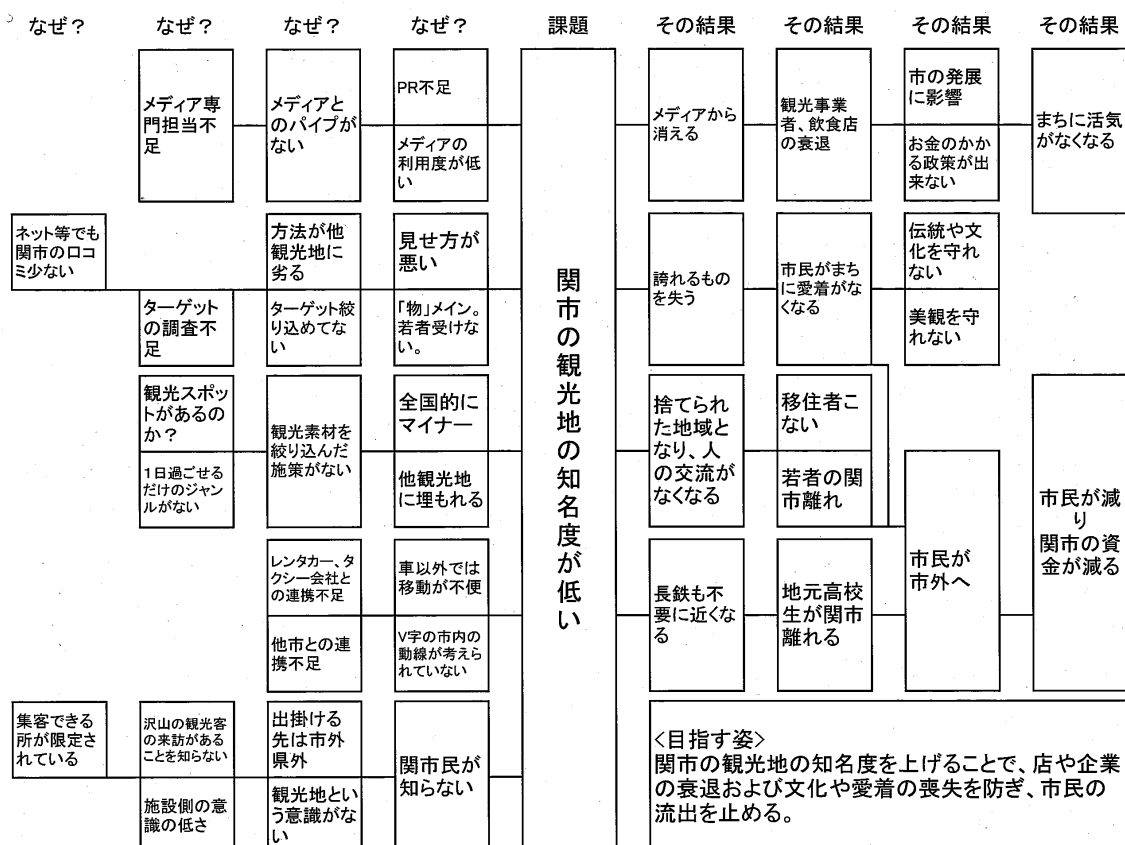
- 1) 関市への来訪者は、首都圏、東海圏、男女とも 60 代以上が最多で、20 代、30 代は少ない。ただ、来てみて印象がよかったと思う人が多かったのも 20 代、30 代。
- 2) 小瀬鵜飼の乗船客数は H21 をピークに減少の一途。特に平日が少ない。

2. まとめ

- ・ 若者に対して来訪を呼び込むコンテンツがほしい。
- ・ 夏休み期間以外の閑散期の平日に小瀬鵜飼の観覧者を増加させるには。

II 課題の発生要因の考察

私たちは、なぜ「関市の観光地としての認知度が低い」という課題が起こったのか、その要因を深掘し、議論しました。



班別 課題と影響の考察A

III 目指す姿

私たちは、この課題が将来的にも解決できなければどうなるのかを議論し、目指す姿を下記に決めました。

関市の観光地としての知名度を上げることで、企業や店舗の活性化を図り、市民が誇りに思う愛着のあるまちにする。

IV 課題の解決方法（事業の提案）

これらの課題の考察を元に、大きく2つの視点から提案をします。若者を振り向かせる新戦略、視点を変えた鶴飼の魅力発信です。

提案
1

関グルメの新提案

「関デカ盛りプロジェクト」

<事業概要>

各種飲食店が、常人では到底食えることができないその店オリジナルの“デカ盛りメニュー”を考案し提供する。その各店がチームとなり、さまざまな情報発信から誘客、経済活性につなげます。

<対象者>

観光客、外食者など

<想定される実施主体>

行政を交えたプロジェクトチーム、関市内の飲食店など、観光交流課・商工課など。

<行政の関連する事業>

○○○○○

<実施方法>

- ・プロジェクトの趣旨説明会、各飲食店の参加希望意志を確認。
- ・各飲食店が“デカ盛りメニュー”を考案。
- ・マスコミを集めた“デカ盛り挑戦会”を開催。
- ・専用ホームページや SNS の立ち上げ、マップ作成など。

<予算>

ホームページ・マップ作成、のぼり旗など

計 1,000 千円

提案
2**伝統漁法の幽玄なかがり火が、恋の炎に！？
「小瀬鵜飼コンパ開催」****<事業概要>**

千有余年の伝統漁法「小瀬鵜飼」が行われる小瀬鮎の里で、男女が出会う機会を創出。
幽玄なかがり火が、燃え盛る恋の炎に変わります。

<対象者>

独身の男女

<想定される実施主体>

鵜匠、閑遊船、小瀬旅館組合、観光交流課など

<実施方法>

事前

- ・鵜匠さんや船頭さんへの協力要請。
- ・閑散期での開催日調整、参加者の募集。
- ・マスコミへの周知、TV などとのタイアップなど。

当日

- ・屋形船上ディナー(メンバーチェンジあり)。
- ・河原で暗闇トーク。
- ・鵜飼観覧。
- ・船で河原へ、かがり火告白タイム。
- ・成立カップルは貸切船で岸へ。

<予算>

参加者の会費でまかなう。

計 0 千円